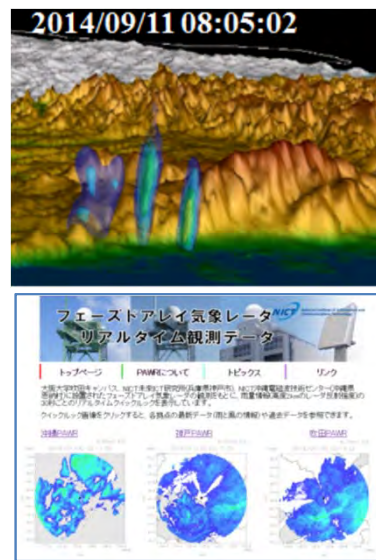
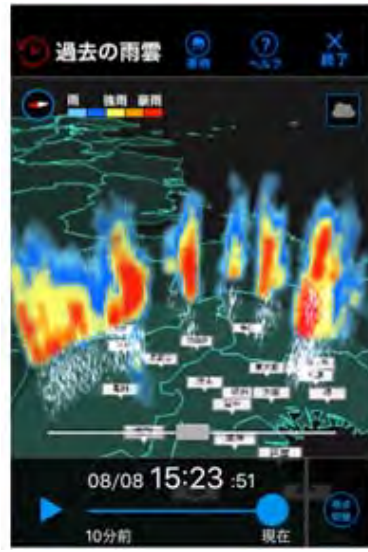


研究機関名：NICT電磁波計測研究所 センシングシステム研究室

研究の概要：**ゲリラ豪雨や竜巻突風などの突発的局所的気象災害の予測と軽減**を目指して、フェーズドアレイ気象レーダ・ドップラライダーネットワークデータ融合システムを開発。**従来の気象レーダに比べて約100倍のデータレートとなる観測ビッグデータをリアルタイムで収集**するとともに、観測終了後1分以内に**吹田、神戸、沖縄で観測された降雨分布をウェブページでデータ公開**している。共同研究によって開発したスマホアプリ「3D雨雲ウォッチ」などの実証実験も開始。



左から

- ・神戸のPANDA（フェーズドアレイ気象レーダドップラライダーネットワークデータ融合システム）吹田、沖縄にも設置。
- ・スマホアプリ「3D雨雲ウォッチ」の画面
- ・吹田PAWRで観測されたゲリラ豪雨
- ・フェーズドアレイ気象レーダのリアルタイム観測データの公開  
webページ (<http://pawr.nict.go.jp/>)

実際の利用→従来の気象レーダの**100倍の観測ビッグデータをリアルタイム処理**するために、**JGNの高速回線**を利用することで多くのユーザにリアルタイムのデータ提供が可能となった。  
**観測データは、JGNのネットワークやNICTサイエンスクラウドを通して外部ユーザにもオープン**となっています

